



# リヨン・カトリック大学 2022年夏季 体験談

文学部 文学科 フランス文学専攻 4年

宇多 野乃花

# 研修参加の動機

## 【短期プログラムを選んだ理由】

大学1・2年次はコロナ禍によるオンライン授業が多く、キャンパスに通う機会が少なかった

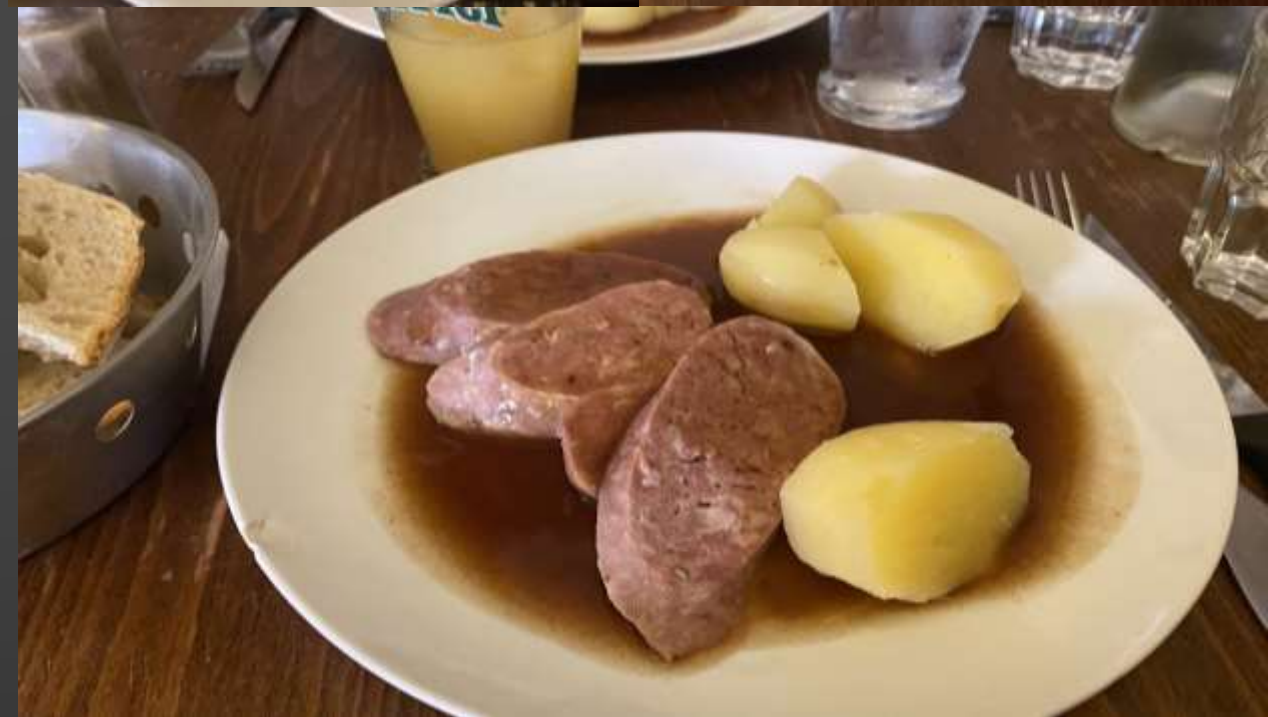
⇒ 3年次はキャンパスライフを楽しみたい！という思いから、明治大学での生活と留学のどちらも経験できる夏季プログラムを選んだ

## 【リヨンのプログラムを選んだ理由】

高校生の頃、約二週間の短期留学でリヨンを訪れたことがあった

⇒ 思い出の地でもあるリヨンでの語学研修プログラムを選んだ

◎「フランス第2の都市」や「美食の街」と呼ばれるリヨンには、ブション(大衆ビストロ)が多くあり、手頃な価格で美味しい郷土料理を楽しめる！





## 授業・課外活動・滞在先

### 【授業・課外活動】

・ 渡航前に受験した試験結果をもとにクラス分け

⇒ 自分と同じくらいのフランス語レベルの学生と学ぶことができる！

・ 月(午前中)・火(朝～夕)・木(朝～夕)・金(午前中)の週4日授業

⇒ 自由な時間も多いため、授業後にリヨンを散歩したり週末にはベルギー・スイスなど近隣諸国へ遠出もできる！

・ 毎週水曜日は授業の一環として課外活動

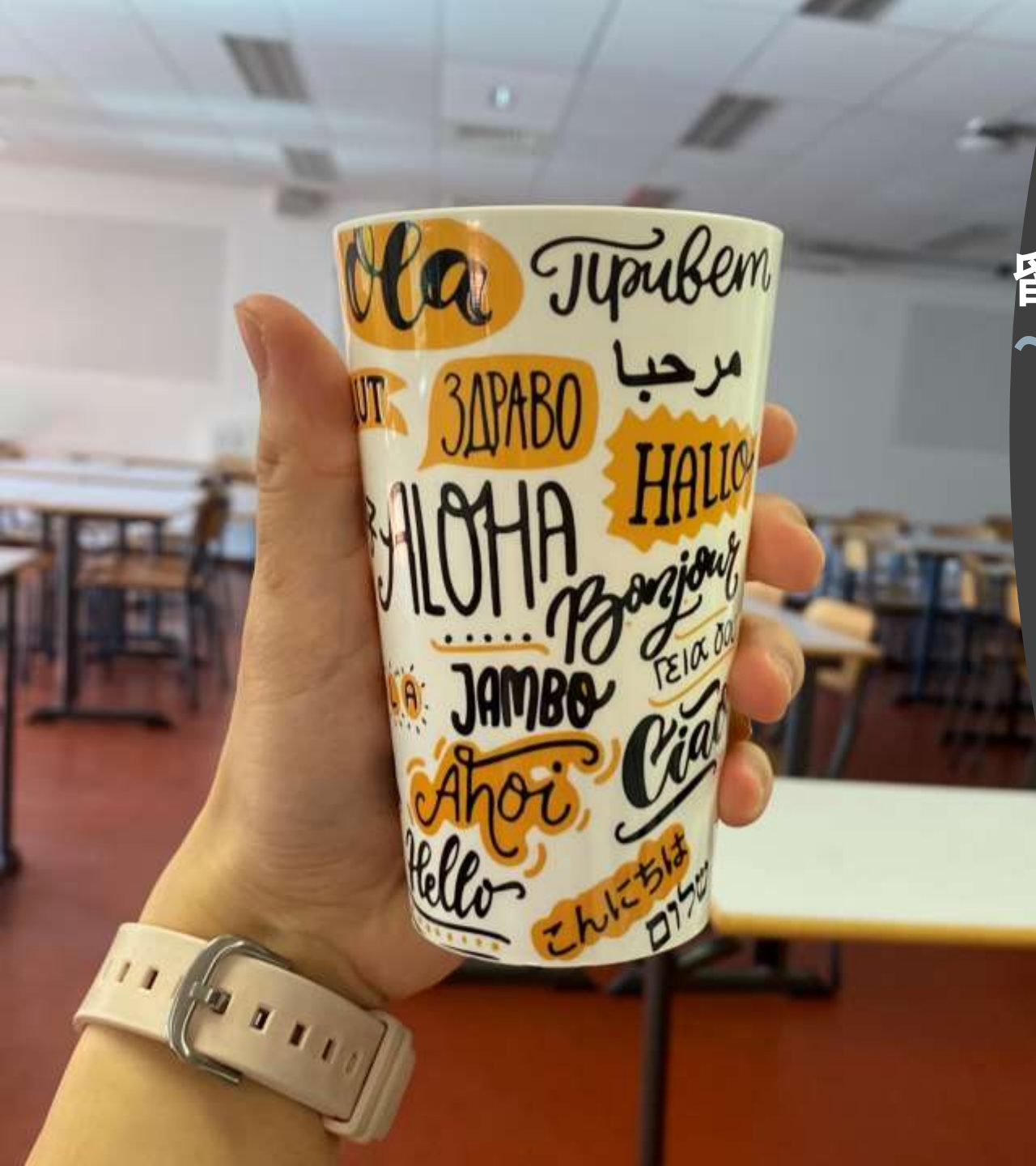
ex) ソーヌ川・ローヌ川遊覧船ツアー

### 【滞在先】

・ 民間学生寮の1人部屋

⇒ シャワーやトイレ、部屋内キッチンも個人で使えたので、1人の時間と学校での時間がバランス良くあって大きなストレスなく生活できた

◎部屋によっては備え付けのもの（ポット）が無かったり、電気が点かなかったりしたので、友人と情報交換し、気づいたら早めに受付に対応してもらおうと良い



## 留学先で得た気づき、学び、課題 ～語学面～

文法が完璧でなくても浮かんだ単語を口に出す！

話そうとする姿勢を見せる！（相手も聞いて理解しようとしてくれる）

英語も同時に勉強する！（フランス語で伝わらないと英語に切り替えて話されることが多い）

正しい発音を心がける！（発音が違うと伝わらない）



## 留学先で得た気づき、学び、課題 ～その他～

- 中国や香港、ブラジルの学生をはじめ、**日本に興味を持ってくれる人が多くいた**（日本語で挨拶してくれたり、日本食が好きだと言ってくれたり、自分の国にある日本ゆかりのモニュメントを紹介してくれたりなど...）

⇒日本の歴史や文化についてもっと学んで知識を増やし、世界の人に紹介できるようになりたい！

- 自分の国に関心を持ってもらえると嬉しい

⇒**国外の情報にも常にアンテナを張り、世界の人と楽しく会話できるようになりたい！**

◎日本のお菓子や寿司のシールなどをあげると喜んでくれたので、ちょっとしたお土産があると会話のきっかけをつくりやすい！



## 留学を通して成長したこと 今後の目標

- ・ 渡航前の荷造りや書類手続きを、大学の授業や期末レポート課題、アルバイトと並行して進めなければならなかった

⇒ 期日までに「物事をやり遂げる力」が磨かれた！

- ・ 1か月間の海外生活を乗り切った

⇒ 新しい環境に不安を感じる事が多く、苦手意識があったが、本プログラムに参加したことで自信がついた！新しいことに挑戦してみたいと思えるようになった！

◎ 今後は、少しでも興味・関心を持ったものには積極的に挑戦することが目標



## 渡航しての留学に対する思い

- 現地の空気を肌で感じながら学ぶことができる
- 対面のため、オンラインよりコミュニケーションを図りやすい
- 授業以外でも現地の人と関われる

⇒ 充実したオンライン留学も増えているが、ぜひ渡航してほしい！



## 参加を考えている皆さんへ

### リヨン・カトリック大学プログラムに参加して良かった点

- ・日本では出会うチャンスがなかった世界中の仲間とともに学ぶ貴重な経験ができ、世界を知るきっかけを得ることで視野が広がる
- ・「自分のフランス語が現地で通じる」という自信を得ることができ、今後のフランス語学習に対するモチベーションの維持・向上に繋がる
- ・学部や学年を越えた明大生と知り合うことができる
- ・いつか中長期留学に挑戦してみたい人にとって、留学のイメージを掴む良い機会になる
- ・明治の生活と留学を両立したい！という人、学生のうちに海外生活を経験してみたい！という漠然とした憧れのある人も、気軽に参加できる
- ・1か月間しかないからこそ、充実した生活を送れるよう行動しよう！という意欲溢れる姿勢で臨める